

R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1856号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL 055 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL 055 972-2122
会長 矢岸 克行 幹事 森崎 祐治

広重版画より 三島 朝霧

第1919回例会

2012.2.12晴

静岡第2分区 I M

ホストクラブ:御殿場 R C

ガバナー補佐挨拶

ガバナー補佐
水口正宏君

今から丁度11か月前、わが国の自然災害の歴史を塗り替える「東日本大震災」が起きました。阪神・淡路大震災や中越地震とは、災害そのものがまるっきり違います。地震であれば、家が倒壊しても家そのものはその場所に残ります。衣類をはじめ、貴重品・思い出の品を掘り起こし、手にすることができます。今回は、木造の家そのものがほとんど流されました。車も船も、漁師は仕事も流されました。町全体が流され、家族も流され、遺体すら奪われてしまいました。喪失感の大きさは、全く経験したことがない災害でありました。

通信・交通の途絶えた被災地救援に駆けつけたのは、警察・消防・自衛隊そして官民のボランティアでした。なかでも唯一、自己完結型の支援活動が可能である自衛隊は、給水・給食・入浴・輸送・搜索のほか、従来は行われなかった遺体処理や、過酷な環境下での原発への放水や放射性物質の除染活動などの分野へも、全勢力の半数に当たる10万人体制で長期にわたって支援活動が行われたことは周知のことです。専守防衛・PKO活動業務の実態に触れることの少ない一般国民にとって、今回の震災や台風被害被災地での救援活動は、自衛隊との距離感を縮めたとも言えます。

あらゆる局面で行き詰まり、未経験な試練に立たされている中で、ようやく復旧復興の動きが見え始めました。現地見聞をされたロータリアンも大勢おられると思いますが、今回のIMを通して災害の実態をより知ることによって、「被災地との絆を結ぶ」糸口と、「分区内の絆を深める」ことに幾分なりともつながればと存じます。どうぞよろしく願い申し上げます。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	43/50	86.00%	47/50	94.00%
今回	26/44	59.10%	会員総数	52名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、石川君、亥角君、小野君、窪田君、栗原君、鈴木(正二)君、諏訪部(照)君、諏訪部(敏)君、千葉君、野口君、花房君、平出君、藤江君、室伏君、柳田君、渡辺(雅)君

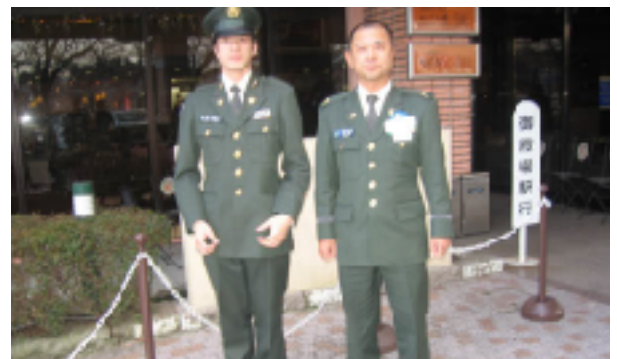
会長挨拶

御殿場 R C 会長 滝口喜徳君

本日、2月とはいえ、早春、春浅しであります。霊峰富士山の頂はまだまだ積雪量が多く、富士風の寒風激しい御殿場地方。御殿場 R C が主催し開催いたします I M に、国際ロータリー第2620地区、静岡第2分区の多数の会員の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。ご来賓の皆様にも感謝申し上げます。空気の美味しさを誇るこの地、水の美味しさを誇るこの地、御殿場 R C 会員一同ご歓迎申し上げます。

開催にあたり、静岡第2分区、ガバナー補佐 水口正宏さんより I M の目的、必要性、有意義性の詳細のご説明があります。又、I M の計画・立案をされた実行委員長 嶋田泉太郎さんより経緯の詳細な説明、講師の決定等を含め、ご案内いたします。

今日は、短時間ではありますが、I M が有意義であり、会員の皆様、ご来賓の皆様の各々親睦が深まるよう祈願いたし、重ね重ね歓迎申し上げます。御殿場 R C 会員の皆様に、これまでの協力感謝いたします。本年度の御殿場 R C テーマは「ロータリーを楽しもう」です。



(週報担当: 田熊幸代)